

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立八雲小学校

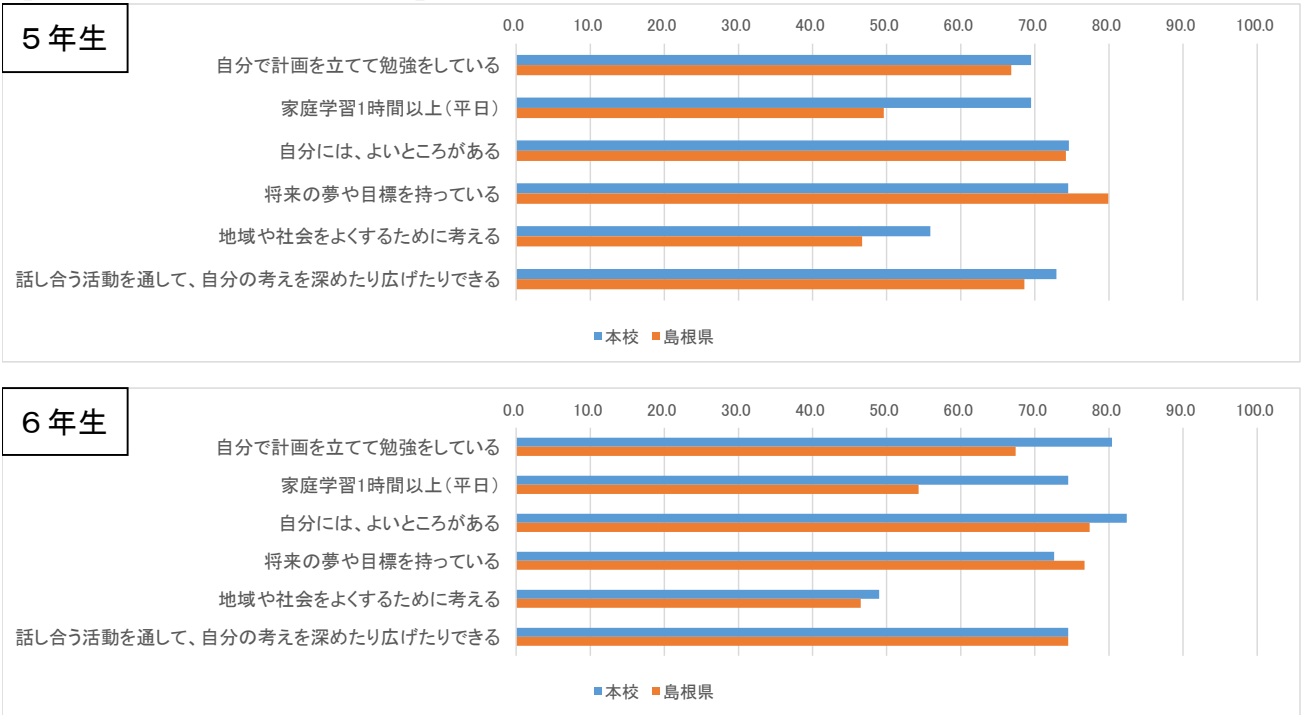
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○漢字の読みはできている。 ●文章量が多いと時間以内に読みこなすことができない。文章を目で追うことはできても、正しく読み取り、理解することは難しい。	○特に聞く力、文章を読み取る力は改善傾向にある。 ●書く問題は半数近くが無解答である。複数の情報を整理して書く問題では、無回答率は低い。条件が足りない児童が4割近くいる。自分の意見や理由を述べる問題では、無回答が4割、問われていることに対する答えになっていない反応が3割である。
算数	○基礎的な式の計算はできる。学習したばかりの単元は、よくできている。 ●基礎的な力で解答できる問題でも、長文になると問題を読み取ることができないために解答率が下がっている。	○算数の平均回答率は数値上ではわずかな改善傾向ではあるが、算数の学習に肯定的な回答をする児童が半数を越え、大幅に改善している。学級の人数を2分割した少人数指導が功を奏していると考えられる。 ●等しい比、基準量をもとにした比較量、拡大図と縮図など、値が変わると混乱する様子が見られる。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○平日の家庭学習に1時間以上かけている児童が7割を超えているとともに、自分で計画を立てて学習している児童も7割近くいることから、学習習慣が身に付いていることがわかる。 ○話し合う活動については改善しており、共に学ぼうとする意識が育ってきている。 ●新聞を読む機会が少なく、読書の習慣が身に付いていない。学習にインターネットは利用しているが図書館を利用している児童は少なく、正解をすぐに手に入れようとする傾向があるのではないかと考えられる。情報を集め、比べ、整理する機会が少ないことが考えられる。	○平日の家庭学習に1時間以上かけている児童が7割を超えているとともに、自分で計画を立てて学習している児童も8割近くいることから、学習習慣が身に付いていることがわかる。学習時間は前年度より大幅に改善している。 ●テレビ視聴等、メディアの時間がコントロールできていない児童の割合が5割いる。学習に図書館を利用している非常に少なく、テレビのニュースを見ている児童も少ない。情報を整理して活用する機会や学んだことと日常生活を結び付けて考える機会が少ないことが考えられる。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

56

名

6年生

50

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)